

基本方針 5 教育の原点である家庭教育を支援します。

5 -

家庭教育学級交付金【社会教育課】



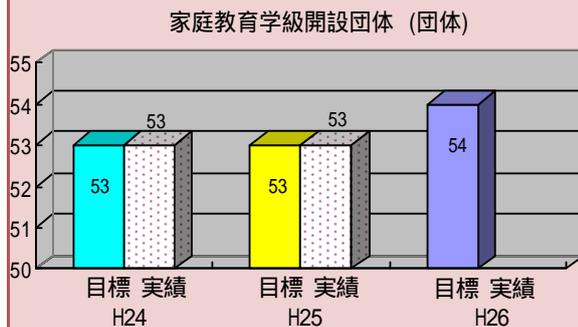
事業概要

教育の原点である家庭教育の充実を図るため、幼稚園保護者会、小・中学校PTAなどが家庭教育学級を開設できるように支援しました。

平成 25 年度実績

市立全小・中学校PTA36校、私立初等学校保護者会1校、幼稚園保護者会16園へ家庭教育学級を開設するための交付金を交付し、事業計画などについて相談や助言などを実施しました。

成果指標



成果と課題・今後の取組等

学級開設に当たり実施内容や講師などについて、手引を作成するとともに適切な助言を行うことにより、より充実した事業を実施することができました。今後も、家庭教育の推進が図られるよう支援をしていきます。

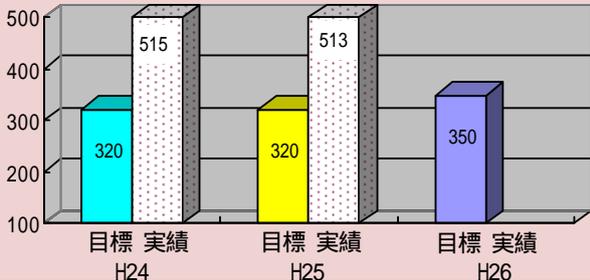
平成 26 年度からは、参加者共通のアンケートを実施し、学習した内容が家庭で子育てに役立つかなどの調査をすることで、より効果的な家庭教育学級の開設を目指します。

委員からの意見

- ・各小・中学校・幼稚園の事業例のほか、市が推奨する家庭教育学級講座を分かりやすく紹介し、家庭教育学級の重要性が伝わるような働きかけを望みます。
- ・家庭教育学級交付金事業は、社会教育団体であるPTAがともに学び育つために必要な事業であり、継続させるべき事業だと思います。ただ、何をすれば良いか、何を学べば良いかという視点が分からず、迷っているPTAが多いと思われます。実践の「きっかけ」となる企画案や実践事例などを指導・提案・支援する仕組みが必要だと思います。この仕組みができることにより、自ら活動し、学ぶことの大切さが分かると考えます。この「きっかけづくり」の過程も社会教育の一つと考えます。
- ・全小・中学校PTAや幼稚園保護者会において、家庭教育学級を開設するための交付金を交付するとともに、実施内容などについて助言を行うことで、家庭教育の充実が図られたと思います。今後も、家庭教育の重要性が認識でき、実践化が可能な内容を持つ家庭教育学級の開催を期待します。

家庭教育情報提供事業【社会教育課】

	事業概要
	<p>家庭教育の必要性や重要性を理解していただくため、市民の皆様を対象に講演会や研修会を開催し、必要な情報を提供しました。</p>
	平成 25 年度実績
	<p>家庭教育情報提供講演会を全 3 回実施 「小中学生の気になる病気について」 「乳幼児期のコミュニケーション発達～ことば・想像力が生まれる歩み」 「子どもと携帯電話の関係について、家庭で考えよう」 小中学校 P T A 対象(1 ・ 3 回目) 幼稚園保護者会等対象(2 回目) 参加者合計数 513 人</p>

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<p style="text-align: center;">講演会等参加者数 (人)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>320</td> <td>515</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>320</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H24	320	515	H25	320	513	H26	350	350	<p>参加者のニーズに合った講演内容を実施することができたと考えます。</p> <p>今後も、参加者が必要とする内容を実施できるように、幼稚園保護者会や小・中学校 P T A と要望・課題を調整しながら、事業を推進していきます。</p>
年度	目標	実績											
H24	320	515											
H25	320	513											
H26	350	350											

委員からの意見

・家庭教育情報提供事業と人権教育・啓発推進事業の各種講演・講座は、公民館でも同じような内容を多く開催していると思います。地区公民館での活動とこれらの事業と関連させて実施することによって、更に効果は上がるのではないかと考えます。例えば、関連づけた講座や講演、年間のテーマや年間目標の関連性など、地区の特性をいかしつつ、地区公民館事業とこれらの事業が互いに連携し合う仕組みづくりが大切だと思います。

・全小・中学校 P T A や幼稚園保護者会を対象とした講演会や研修会を開催し、家庭における今日的な課題の解決に役立ったと思います。今後も、家庭教育の重要性を念頭に、市民のニーズを把握し、より充実した講演会にしていきたいと思います。

	事業概要
	<p>成長期の子供たちの健やかな成長のために、「早寝早起き朝ごはん」の大切さを、積極的に啓発しました。</p>
	平成 25 年度実績
	<p>啓発用チラシなど配布 約 176 回 (各地区公民館まつり、各小学校就学前検診・就学時説明会、市内 23 保育所など・17 幼稚園新入園児説明会、各小学校区地域子ども教室ほか)</p>

成果と課題・今後の取組等

乳幼児や小学生などの保護者を中心に啓発用チラシや物品などを配布し、効果的な啓発活動を展開しました。平成 25 年度は、小・中学校で作成される「保健だより」や公民館だよりなどで「早寝早起き朝ごはん」推進に係る記事の掲載依頼をして、更に広く保護者などへ啓発内容が浸透するよう工夫しました。

今後も、啓発対象や場所を拡大しながら積極的に推進していきます。

委員からの意見

「早寝早起き朝ごはん」運動は、子供たちの健やかな成長にとって大切な習慣であると思います。チラシや物品の配布などを通して、啓発活動が展開され、広く保護者が取り入れているものと思います。今後も、啓発の意図を確認するとともに、家庭での実践度を捉えた啓発活動を展開していただきたいと思います。

【基本方針5に対する点検・評価委員からの総括的意見】

3事業ではありますが、いずれも教育の原点である家庭教育の支援にマッチした施策であると思います。3事業とも、今後も継続して推進していくことが望ましいと考えます。子供の教育は、主に学校が行うものという考えを持つ保護者が見受けられますが、家庭教育も極めて重要であることを今後とも啓発していくことが肝要であると思います。

家庭教育学級の開設支援や家庭教育情報提供講演会の実施、生活習慣の啓発により、家庭教育の意義について理解を深め、日々の実践につなげることで家庭教育の充実を図ることができたと思います。基本的な生活習慣の確立と人間関係の醸成のために、親子で参加する行事を設けるなどして、体験を通して習得できる研修会などを研究していただきたいと思います。

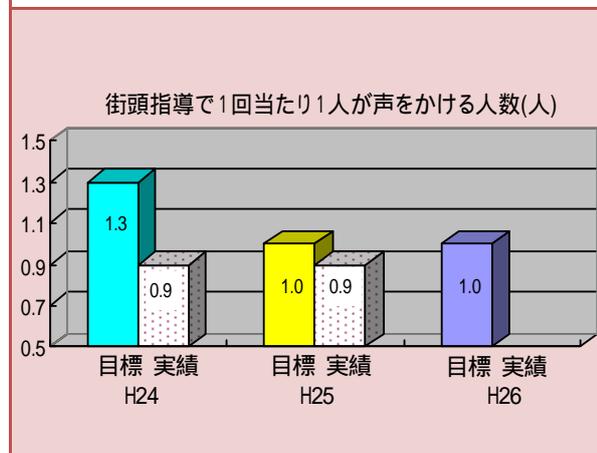
基本方針 6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。

6 -

街頭指導活動【青少年教育相談センター】

	事業概要
	<p>青少年による問題行動の未然防止、早期発見・指導を行うため、青少年相談員や社会教育指導員などが、公園や繁華街などを巡回しました。</p>
	平成 25 年度実績
	<p>青少年相談員や社会教育指導員などによる巡回を年間で 601 回実施しました。</p>

成果指標



成果と課題・今後の取組等

社会教育指導員と夜間専門補導員による巡回の実施回数を増やし、声かけ指導の機会を増やしたことで、繰り返し指導される青少年との関係づくりができ、問題行動の早期発見だけでなく、未然防止につながっているものと考えます。

経験の少ない青少年相談員には、今後の研修会や街頭指導の実践の中で、声かけ指導などの定着を図っていくよう努めます。

委員からの意見

夜間専門補導員や社会教育指導員などが、公園や繁華街などを巡回する街頭補導活動によって、青少年による問題行動の未然防止や早期発見、早期指導が可能になり、効果が上がっていると思います。声かけの仕方によっては、反感を招く場合も考えられるため、補導や指導の研修を十分行い、継続して実施していただきたいと思います。

	事業概要
	<p>青少年健全育成のため、環境浄化活動としての「心と街のクリーン作戦」や、青少年相談員が青少年の薬物乱用防止を呼び掛ける「愛の一声みちびき運動」などを実施しました。</p>
	平成 25 年度実績
	<p>心と街のクリーン作戦参加者数 219 人</p> <p>愛の一声みちびき運動参加者数 69 人（14 公民館）</p>

成果と課題・今後の取組等

「心と街のクリーン作戦」では、世代を越えた交流の中で有意義な活動を行うことができました。平成 25 年度は初めて小学生が参加しましたが、天候の影響もあり、全体の参加人数は減少したので、平成 26 年度は改善を図っていきます。

「愛の一声みちびき運動」では、各地区で啓発活動を展開し、地域の青少年の非行防止につなげました。今後も、啓発チラシなどの配布を工夫している地区の実践を情報交換するなどして、活動の更なる充実を目指します。

委員からの意見

環境浄化活動として、「心と街のクリーン作戦」が実施され、世代を超えた参加者の交流があり、成果が上がっていると思います。また、薬物乱用防止として「愛の一声みちびき運動」が青少年相談員を中心に行われ、非行防止につながったと思います。今後も、世代間交流や地域間の情報交換を行い、より充実した啓発活動を実施していただきたいと思います。

【基本方針 6 に対する点検・評価委員からの総括的意見】

街頭指導活動や非行防止・環境浄化活動は、回数を重ね多くの関係者が活動することにより次第に効果が上がってくるものと思います。地域の方々、関係者、小・中学校 PTA、保護者たちの活動が顔見知りを作り、情報交換などによって地域への関心や意識が高まってきます。また、参加されない方も街頭指導などの活動を目にすることにより、地域の抑止力や浄化が期待できるものと思います。地道な活動ですが、今後も続けることにより、地域の連携に加えて少しずつ効果が表れてくるものと考え、継続が必要と思います。

社会教育指導員や夜間専門補導員による街頭指導活動の充実や「心と街のクリーン作戦」、「愛の一声みちびき運動」の実施により、青少年の問題行動に対する未然防止や早期発見・早期指導がされ、青少年の健全育成の推進に役立ったと思います。今後も、活動を継続するとともに、地域人材の持つ力を発掘し、情報ネットワークをいかして地域社会の教育力の向上を目指す取組を期待しています。

基本方針 7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。

7 -

市民スポーツ活動推進事業【スポーツ課】



事業概要

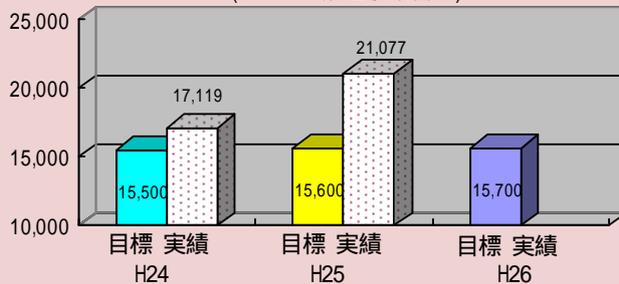
多くの市民の皆様にはスポーツに触れ合う機会を提供するため、ニュースポーツを体験するスポーツなじみDAYなどを開催しました。

平成 25 年度実績

スポーツなじみ DAY 参加者数 627 人
ドリームサッカー参加者数 3,100 人

成果指標

スポーツ行事の参加者数(人)
(スポーツ推進事業含む)



成果と課題・今後の取組等

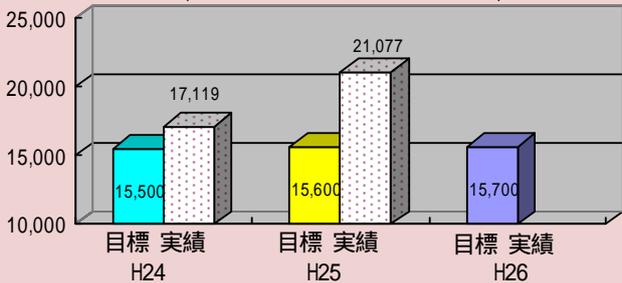
市民ニーズを的確に捉えた事業内容を検討しつつ、事業PRに様々な手段を講じ、市民の皆様には十分浸透するような事業を展開していきます。

委員からの意見

スポーツなじみ DAY やドリームサッカーの実施を通して、市民がスポーツに触れ合う機会を提供できたと思います。今後、高齢化の進展に伴い、高齢者に対応したスポーツを紹介し、様々な世代がともに楽しく活動できる事業を展開していただきたいと思います。

スポーツ推進事業補助金【スポーツ課】

	事業概要
	<p>本市のスポーツの普及・推進を図るため、少年ソフトボール大会などの各種スポーツ大会やサッカー教室などのスポーツ教室などを開催する（公財）厚木市体育協会に対して、補助金を交付しました。</p>
	平成 25 年度実績
	<p>競技別市民選手権大会 7,055 人 スポーツ大会 5,645 人（8 大会） 元気アップスポーツフェスティバル 409 人 スポーツ教室 2,064 人 指導者養成支援事業 1,622 人 スポーツ人のつどい 555 人</p>

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<p style="text-align: center;">スポーツ行事の参加者数(人) (市民スポーツ活動推進事業含む)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>15,500</td> <td>17,119</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>15,600</td> <td>21,077</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>15,700</td> <td>15,700</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H24	15,500	17,119	H25	15,600	21,077	H26	15,700	15,700	<p>今後も（公財）厚木市体育協会に対して交付金を交付し、本市のスポーツの推進を図っていきます。</p> <p>また、体育協会と連携しながらスポーツアカデミーを創設し、トップアスリートの育成、指導者の養成及び市民スポーツ活動の推進を図っていきます。</p>
年度	目標	実績											
H24	15,500	17,119											
H25	15,600	21,077											
H26	15,700	15,700											

委員からの意見

（公財）厚木市体育協会に対して交付金を交付し、各種スポーツ大会やスポーツ教室が開催され、スポーツの普及・振興に成果が見られました。今後も、体育協会との連携を深め、指導者の養成を図り、本市スポーツ活動が興隆していくことを期待しています。

スポーツ振興基金積立金【スポーツ課】

	事業概要
	スポーツの振興に役立てるため、皆様からの寄附金などを積み立てました。
	平成 25 年度実績
	寄付金 1件 (20万円)

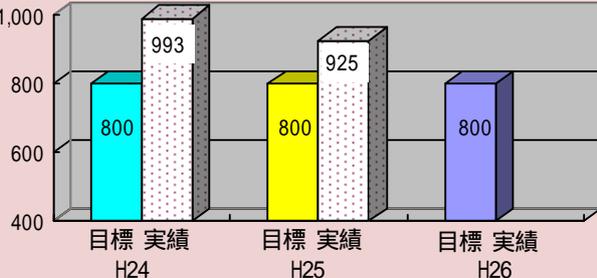
成果と課題・今後の取組等

広く一般からの寄附金の受入れができる体制の整備が必要であるとともに、今後においても、あつぎ元気応援寄附金を活用し、寄附金が募ることができるように広く周知を図ります。

委員からの意見

スポーツの振興を図るためにも、より多くの方に知ってもらえるように周知方法などについて、更なる工夫が必要だと考えます。

	事業概要
	<p>地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及・推進のため、地域のリーダーとしてふさわしいスポーツ推進委員養成のための研修会などを行いました。</p>
	平成 25 年度実績
	<p>スポーツ推進委員会議などの開催 12回(306人) 研究会・研修会 7回(230人) 市など主催事業協力 6事業(389人)</p>

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<p style="text-align: center;">行事など参加推進委員延べ人数(人)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>800</td> <td>993</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>800</td> <td>925</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>800</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H24	800	993	H25	800	925	H26	800	800	<p>市民の皆様が気軽に親しむことのできるニュースポーツを中心に、各種目の専門的知識を養うための研修会などを実施します。</p> <p>また、スポーツを通して地域のネットワークやコミュニケーションの中心として活動をしていく必要があるため、スポーツという枠を超え、必要に応じて講義・講習を進めていきます。</p>
年度	目標	実績											
H24	800	993											
H25	800	925											
H26	800	800											

委員からの意見

ニュースポーツを中心とする研究会・研修会などを開催することで、地域のスポーツリーダーとして活躍できるスポーツ推進委員の養成ができ、地域のスポーツ・レクリエーションの普及・推進に役立っていると思います。今後も、地域の幅広い年齢層が楽しめ、交流し合えるような、ニュースポーツの普及のために、事業の推進を望みます。

競技団体選手強化学業交付金【スポーツ課】**事業概要**

競技力向上を図るため、競技団体が全国大会や県大会などに選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会などの事業に対し、交付金を交付しました。

平成 25 年度実績

交付団体数 1 団体
(県大会 1 団体)

成果と課題・今後の取組等

各競技協会において、事業PRをするとともに、選手強化がより効果的に行えるような事業内容及び交付額について検討していきます。

全国大会等出場奨励事業【スポーツ課】



事業概要

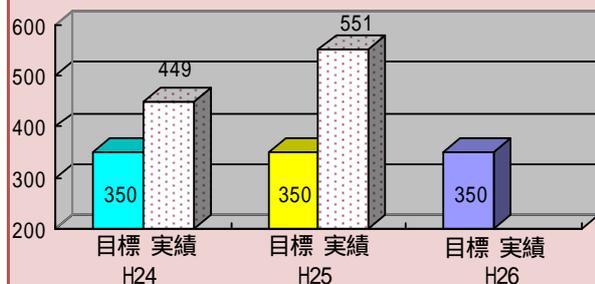
競技力向上を図るため、国際大会、全国大会に出場する市民の皆様に対し、奨励金を交付しました。

平成 25 年度実績

全国大会出場奨励金 163 件 (574 人)

成果指標

全国大会出場者数(人)



成果と課題・今後の取組等

全国大会等出場奨励事業については、情報収集の能力を上げるとともに、この制度の周知を十分行っていきます。

委員からの意見

国際大会や全国大会に出場する方々は、交通費や宿泊費などの出費がかさむものと推測されますが、大会で活躍できれば市民を元気づけることになりしますので、奨励金を交付することには意義があると思います。今後も、その競技の認知度などを見極め、適切な事業展開を望みます。

体育施設整備事業【スポーツ課】



事業概要

安全な施設運営を継続するため、南毛利スポーツセンターテニスコートのフェンス修繕を行いました。

平成 25 年度実績

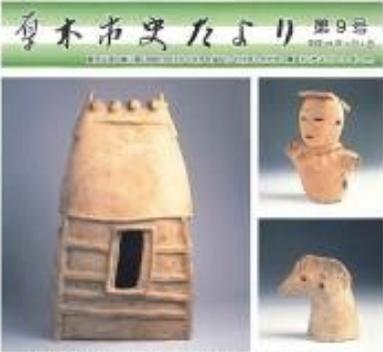
南毛利テニスコートフェンス改修工事を実施しました。

成果と課題・今後の取組等

平成 26 年度は、玉川野球防護パッド改修工事及び南毛利スポーツセンター空調改修工事のための設計委託などを実施する予定です。

委員からの意見

近頃、体育施設の老朽化による事故が報道されることがあり、体育施設の整備は、運動する人々の安全を確保する意味で重要であると思います。今後も、市の各体育施設の状況を的確に把握して、計画的な整備を望みます。

 <p>『厚木市史たより』第9号 2013年3月号</p> <p>図1 厚木市史資料館蔵 厚木市史資料館蔵 厚木市史資料館蔵</p>	事業概要
	本市の歴史的変遷を後世に継承するため、「厚木市史」の発刊を目指し、歴史資料の調査、収集、分類、整理及び原稿執筆などを行いました。
	平成 25 年度実績
	<ul style="list-style-type: none"> ・『厚木市史』民俗編（1）生活記録集の発刊 A5判、812頁、500部 ・『厚木市史たより』9・10号の発行 A3二つ折、各1,500部 ・市史歴史講演会「関東大震災と厚木市内各地の被害」の開催 参加者数 170人

成果と課題・今後の取組等

これまでに『厚木市史』の本編12巻、『厚木市史資料叢書』1～11、『厚木市史たより』1～10号などを発刊することができました。

今後は、市史編集委員会委員などによる執筆体制の充実を図り、着実に刊行していくよう努めます。

また、より多くの方々に事業を知っていただくため、歴史講演会や「市史をよむ」講座の開催や『厚木市史たより』の発行を継続して実施します。

委員からの意見

「厚木市史」、「厚木市史資料叢書」、「厚木市史たより」の発刊により、市民が厚木市の歴史について興味や関心を持つことに役立ったと思います。今後も、歴史資料の調査・収集・整理を十分行い、執筆につなげるとともに、「厚木市史」を活用した事業の充実を図っていただきたいと思います。

	事業概要
	厚木市の誇るべき郷土芸能を後世に継承するため、児童・生徒を始め市民の皆様が鑑賞できる機会を数多く設けました。また、後継者育成のため体験教室や郷土芸能学校を開設しました。
	平成 25 年度実績

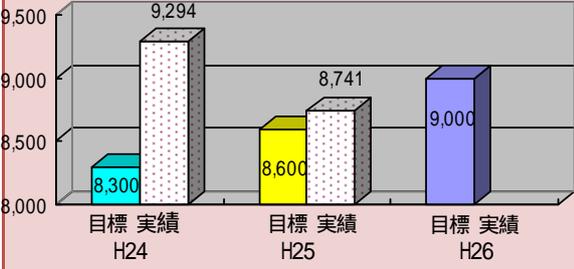
郷土芸能公演鑑賞者数 合計 8,741 人

- ・郷土芸能まつり 鑑賞者数 607 人
- ・郷土芸能普及公演 鑑賞者数 2,476 人
- ・郷土芸能出前体験教室 体験者数 1,788 人
- ・郷土芸能学校 体験者数 156 人
- ・郷土芸能イベントなど 鑑賞者数 3,714 人

郷土芸能学校開催回数 合計 38 回

- ・厚木太神楽 20 回
- ・義太夫三味線 18 回

郷土芸能出前体験教室開催回数 41 回

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<p style="text-align: center;">公演鑑賞者数(人)</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>8,300</td> <td>9,294</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>8,600</td> <td>8,741</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H24	8,300	9,294	H25	8,600	8,741	H26	9,000	9,000	<p>平成 25 年度は、相模人形芝居大会を横浜で開催したこと、4 か所の公民館で人形芝居の講座を開催したことによって、相模人形芝居をより広く周知することができたと考えます。その結果、目標を超える 8,741 人の方々に郷土芸能を鑑賞していただくことができました。</p> <p>平成 26 年度も平成 25 年度の実績以上に鑑賞の機会を提供するため、保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校、大学のほか公民館への協力を依頼し郷土芸能の保存・普及に努めます。</p> <p>また、郷土芸能学校では「相模人形芝居」を新たに開校し、後継者の育成を図るため充実した講座となるよう一層の工夫をしたいと考えております。</p>
年度	目標	実績											
H24	8,300	9,294											
H25	8,600	8,741											
H26	9,000	9,000											

委員からの意見

厚木市の誇りである郷土芸能を多くの市民が鑑賞し、その良さを体感することは、大変意義深いことと思います。郷土芸能まつりや郷土芸能普及公演、郷土芸能出前体験教室、郷土芸能学校、イベントなどを通して、多くの市民が郷土芸能を鑑賞・体験でき、郷土芸能の普及に役立ったと思います。今後も、各教育機関・関係機関との連携を図りながら、後継者の育成を視野に入れた郷土芸能の普及・保存に努めていただきたいと思います。

(仮称) 収蔵資料館建設事業【文化財保護課】**事業概要**

郷土文化の新たな活動拠点、文化財資料の収蔵などの機能を担う施設として、(仮称)収蔵資料館の整備を進めました。

平成 25 年度実績

(仮称)収蔵資料館の基本構想策定へ向け、敷地測量のほか、庁内検討会や跡地研究会を開催するとともに、博物館施設見学会などを行いました。

成果と課題・今後の取組等

(仮称)収蔵資料館の基本構想策定へ向け、外部の有識者からなる(仮称)収蔵資料館検討委員会を立ち上げ、庁内検討会とともに構想内容の検討を進め、パブリックコメントなどを実施します。

【基本方針7に対する点検・評価委員からの総括的意見】

市民ニーズを捉えた様々なスポーツイベントの実施やスポーツ推進委員の養成、競技団体選手への交付金、施設設備の整備などがされることにより、本市のスポーツの振興に役立ったと思います。また、市史編さんや郷土芸能事業の充実が図られ、地域の歴史的側面の理解や郷土芸能の保存・普及など文化振興に役立ったと思います。これらの成果を共有し、発展させていくための人材育成を地道に続け、スポーツ・文化の豊かな地域づくりにつなげていただきたいと思います。

基本方針 8 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

8 -

人権教育・啓発推進事業【社会教育課】



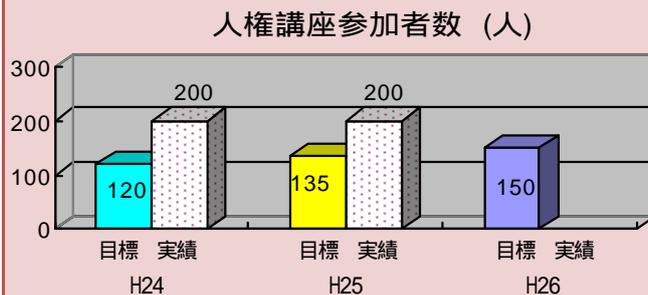
事業概要

市民の皆様へ、人権に対する意識をより高めていただくため、人権講座「ヒューマンカレッジ」などを開催するとともに、人権について積極的に啓発しました。

平成 25 年度実績

ヒューマンカレッジ（人権講座）参加者数 200 人
 第 1 回「メディア・リテラシーってなんだろう？」
 第 2 回「傷ついた子どもたちへの寄り添い方」
 第 3 回「あつぎヒューマンライツフェスタ」

成果指標



成果と課題・今後の取組等

第 3 回目をヒューマンライツフェスタと同時開催で実施することにより、中学生人権作文の優秀作品朗読や人権講演会など、身近な人権に対する理解を深めることができましたと考えます。

今後も、よりニーズに合い、現状に即した人権問題について、参加しやすいテーマ設定を心掛けた講座を実施していきます。

委員からの意見

・講座を 3 回開催し、人権について積極的に啓発したことは評価できますが、機関誌の活用についても積極的な啓発を望みます。

・家庭教育情報提供事業と人権教育・啓発推進事業の各種講演・講座は、地区公民館でも同じような内容を多く開催していると思います。公民館での活動とこれらの事業と関連させて実施することによって、更に効果は上がるのではないかと考えます。例えば、関連づけた講座や講演、年間のテーマや年間目標の関連性など、地区の特性をいかしつつ、地区公民館事業とこれらの事業が互いに連携しあう仕組みづくりが大切だと思います。

・ヒューマンカレッジ（人権講座）などの開催により、市民の人権意識が高まったと思います。人権意識を高めるためには、日常生活の中で起こる事例を取り上げ、意見交換することが大切であると思います。今後も、いろいろな世代の市民が、より多く参加できる講座を目指して事業を展開していただきたいと思います。

【基本方針 8 に対する点検・評価委員からの総括的意見】

日頃から誰もが自分の周りの人や友達を尊重することで、人権感覚を磨くことが大事であると考えます。こうした中で平成 25 年度はヒューマンカレッジの開催、ディスカッションなど工夫された活動を展開されていると感じました。この事業は、数値として表れない部分もありますが、今後も人権教育の充実を核として、ニーズに合った事業の方法・内容を工夫して、継続していくことが必要だと判断します。

ヒューマンカレッジやヒューマンライツフェスタの実施により、市民の人権意識がより高まったと思います。特に、中学生の人権作文を朗読し話し合いを行ったことは、人権を身近に捉える好機となったと思います。今後も、家庭・学校・地域の連携を確保しつつ、人権意識の一層の向上を目指した施策を期待しています。